



高く高く

市内開催6競技における市民入賞者 (いずれも馬術)

- 【成年男子】**
■廣田龍馬さん(トップスコア・優勝/国体障害飛越・2位)
- 【成年女子】**
■廣田忠乃さん(二段階障害飛越・優勝/標準障害飛越・4位)
- 【少年】**
■瀧田玲さん(スピードアンドハンディネス・優勝/ダービー・2位/リレー・5位)
■渡邊心さん(自由演技馬場馬術・優勝/馬場馬術・6位)
■廣田大和さん(トップスコア・5位/リレー・5位/標準障害飛越・7位)

1一打一打に力を込めて 2首をなで演技後の"ありがとう" 3表彰式に華を添える黒磯高校吹奏楽部の演奏 4太鼓の演奏で来訪者におもてなし 5会場の電力を電気自動車から供給したゼロカーボン国体 6大会運営に多くのボランティアが参画 7会場では小中学生が各都道府県に向け作成した応援のぼり旗がなびく 8総合開会式で炬火を点火した馬術・廣田大和選手 9那須拓陽高校と地域事業者が共同製造した焼き菓子の販売 10経木を使ったプラごみゼロ弁当を選手団に提供 11真剣勝負の世界では時に涙 12貴重な学校観戦の機会で児童生徒も大会の雰囲気を感じた

国内最大のスポーツの祭典である国体(国民体育大会)。10月1日から11日間、本県を会場として42年ぶりに行われた「いちご一会とちぎ国体」では、正式競技37競技のうち、市内で5競技が開催されました。また、同月29日・30日には、全国障害者スポーツ大会である「いちご一会とちぎ大会」の正式競技・ポッチャも市内で開催。競技スポーツでは、誰もが今の自分よりも高みを目指し競技に臨みます。選手一人一人の姿から、己と向き合う強い意志と燃え上がる炬火のような熱い闘志が垣間見えました。

本大会を盛り上げ、活躍したのは選手だけではなく、大会の運営に関わってくれた各競技団体、市民ボランティア、協賛事業者など、皆さんの協力があったからこそ、大会開催につながることができました。

今大会における一期一会の出会い、私たちの記憶だけでなく、本市にとってのレガシーとして次代に継承されることでしょう。

↑広報誌国体特集

大会結果詳細 ↓(市国体HP)

いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

市内開催競技

- サッカー少年女子
- ソフトテニス
- 馬術
- ゴルフ
- トライアスロン

いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

市内開催競技

ポッチャ

ボールを使い、カーリングと似た要領で投てきしたボールの目標までの距離を競うポッチャ。障害者スポーツの奥深さを知りきっかけを与えてくれた

馬術競技では栃木県が男女ともに総合優勝を獲得

市民が多数活躍 本大会 無事閉幕